



# 公益社団法人 日本文化財保護協会

Japan Association for Preservation of Cultural Properties

2018年5月21日

公益社団法人日本文化財保護協会

ニュースリリース

## (公社)日本文化財保護協会主催 ドッキー(土器片型クッキー)で縄文時代を学ぶ 「土器をたべちゃえ!ドッキーワークショップ」 6月25日(月)東京都北区立赤羽台西小学校で開催

公益社団法人日本文化財保護協会(本社:東京都中央区、会長:坂詰 秀一、理事長:長谷川 渉)が、ドッキー(土器型クッキー)で縄文時代を学ぶ「土器をたべちゃえ!ドッキーワークショップ」を2018年6月25日(月)に開催いたします。

本イベントは楽しみながら考古学を学ぶというコンセプトのもと、土器片のようなクッキー「ドッキー」を作りながら、縄文時代学びます。土器がどのように作られたのか、どのように使われていたのか、人々がどんな生活をしていたのかを学習し、発掘された土器片を実際に触れて観察シートに特徴を記入、観察した土器片にそっくりになるよう縄文原体でクッキー生地を工夫し、原体で文様を実際に付けて土器がどのように作られたのかを疑似体験します。

本イベントは縄文時代をはじめ古代を身近に体感して歴史に興味を持つきっかけになるような楽しいイベントで、博物館のワークショップや夏休みに開催されご好評いただいております。

このドッキーワークショップを小学校で歴史の学習を始める6年生に体験していただくため、公立小学校である東京都北区立赤羽台西小学校で授業の一環として開催することになりました。

小学校の授業としてのドッキーワークショップ導入は今回が全国でも初めての試みとなります。



☆土器がどのように作られたのか、どのように使われていたのか、人々がどんな生活をしていたのかを学習します。



☆自分で選んだ土器を観察し、観察シートに色や質感、混和されている砂などの情報を記入します。



☆観察シートに記入した内容を基に、クッキー生地を土器の生地に見立てて土器片を再現していきます。



☆焼きあがった土器片型クッキー「ドッキー」を土器片と比べながら試食します。

#### 【イベント概要】

- 日時 平成30年6月25日(月)9:35~12:20(2~4校時)
- 会場 東京都北区立赤羽台西小学校 調理室
- 対象 北区立赤羽台西小学校6年生51名
- 取材申込方法 公益社団法人日本文化財保護協会事務局まで(下記参照)  
(北区立赤羽台西小学校には取材許可済)

#### 【公益社団法人日本文化財保護協会について】

公益社団法人日本文化財保護協会ホームページ <http://www.n-bunkazaihogo.jp/>

埋蔵文化財の発掘調査、出土遺物や堆積物などの科学分析、歴史的建造物や記念物、出土品などの修復、復元、保存などの業務に携わっている民間調査機関が集まる内閣府認定の公益社団法人です。

日本文化財保護協会公式 Facebook <https://www.facebook.com/nichibunkyo/>

公益社団法人日本文化財保護協会公式ツイッター <https://twitter.com/twnbunkazaihogo?lang=ja>

#### 【本リリースに関するお問い合わせ先】

公益社団法人日本文化財保護協会 事務局 担当:岡村真由

TEL:03-6206-2190(平日 9:30~16:30)

e-mail: [info@n-bunkazaihogo.jp](mailto:info@n-bunkazaihogo.jp)

以上